

2019(令和元年)

ハタハタ情報 No.1

令和元年9月17日発行

北海道立総合研究機構 中央水産試験場 資源管理部

Tel : 0135-23-8707 Fax:0135-23-8709

後日、インターネットからもご覧いただけます↓

マリネット北海道 : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/index.html>

道総研水試調査船北洋丸によるトロール調査(留萌沖)の結果を報告します。

【調査概要】 2019年9月4日～9月6日に、雄冬岬沖の水深170～390m付近においてトロールによる漁獲試験を行いました。6調査点で計24尾(そのうち1歳魚以上は2尾)のハタハタを採集し、体長測定や年齢査定などを実施しました。

- 採集状況は最低の水準(1マイル曳網あたり平均0.2尾)
- 2歳魚(2017年級)が主体か。ただし採集数が少ないため不明瞭
- 成熟状態(来遊時期)は雌の採集がなく、10月調査まで見通し立たず

1. ハタハタ(1歳以上)の分布状況(図1)

今回の調査では、雄冬沖周辺の6調査点でトロールを曳網しました。全体的にはニシンの採集が多く、ハタハタは1マイルあたり平均0.2尾であり、近年では最も少ない採集量でした。

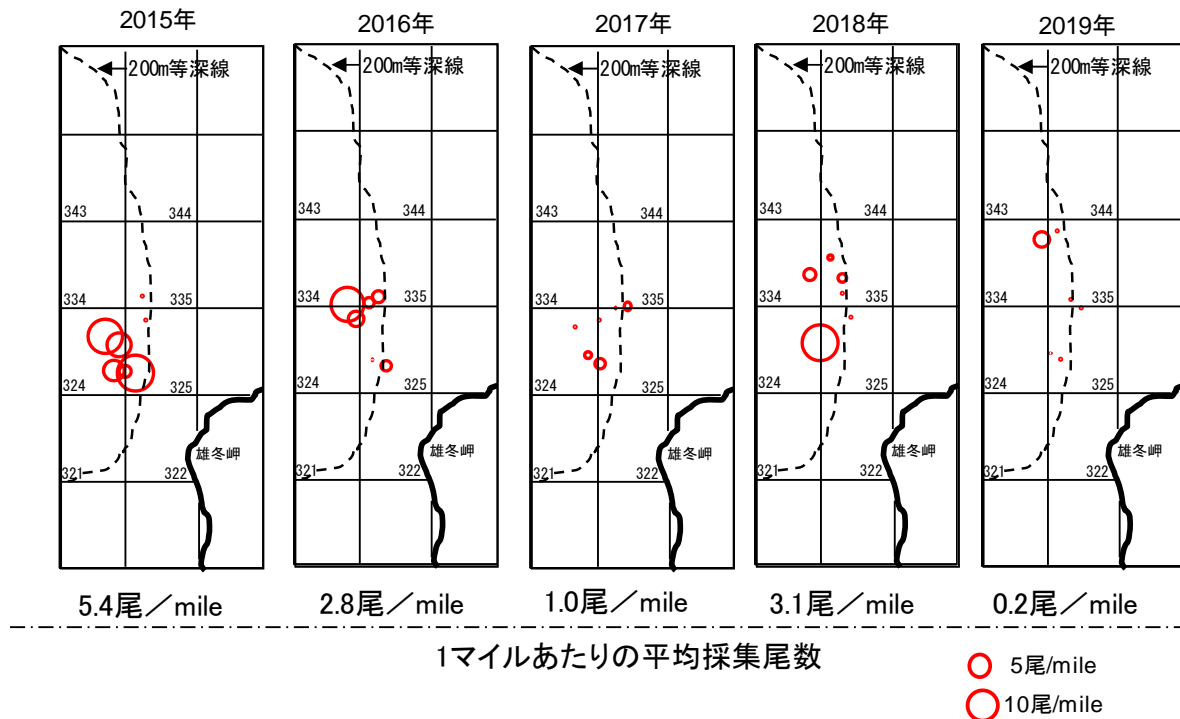


図1 9月トロール調査による採集尾数(1歳以上)

2. ハタハタ（1歳以上）の体長と年齢（図2）

例年、この時期の調査では雌の採集は少なく、今回の調査では雌は採集されませんでした。雄についても採集数は僅か2尾であり、年齢は2歳（2017年級：2017年生まれ）でした。ただし、2歳魚はこれまでの調査から比較的豊度が高いとみられており、今後の来遊が増える可能性があることから、今年の漁模様を占うには10月の調査結果も踏まえる必要があります。また、「魚体の小型化」については、回復している状況はみられませんが、2歳魚主体となれば、漁獲物は昨年より大型魚の割合が多くなる可能性があります。

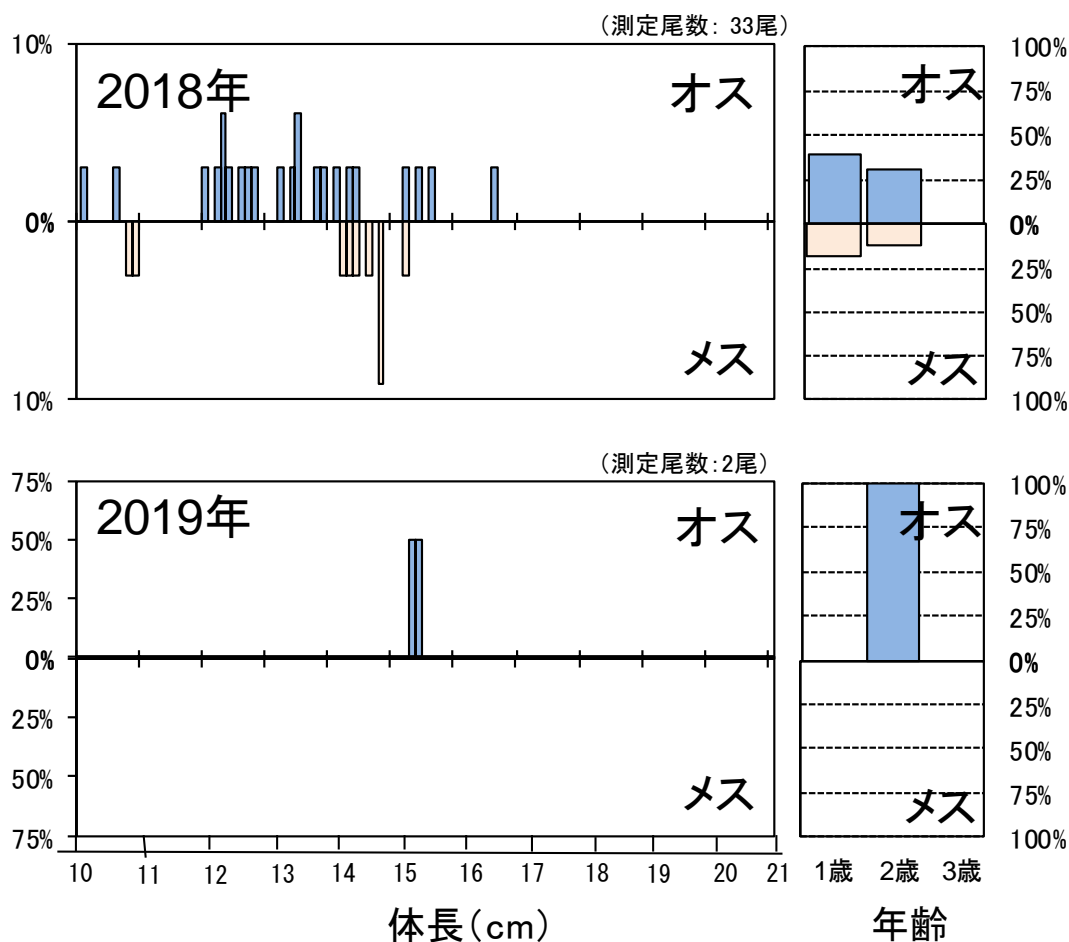


図2 今回の調査で採集されたハタハタ（1歳以上）の体長組成と年齢組成
上段図：昨年（2018年）調査 下段図：今回の調査

3. 成熟状態

例年、この調査結果から成熟の進行具合の判断や沿岸来遊時期の予測を行っていますが、今回の調査では雌を採集することができませんでした。そのため、次回10月のトロール調査結果に基づき改めてお知らせします。

4. 水温 (図3)

今回の調査中に実施した CTD による雄冬沖 (321 漁区北側~325 漁区の範囲) の表層から底層にかけての水温測定結果を, 過去 5 年の平均値と併せて示しました。

今回の調査で観測した水温は各層で高めとなっており, 過去 5 年平均と比べ表層付近で 1.2℃, 躍層が発達している水深 50~80m では 2~7℃, 底層付近 (水深 240m) で 4℃程度高くなっていました。

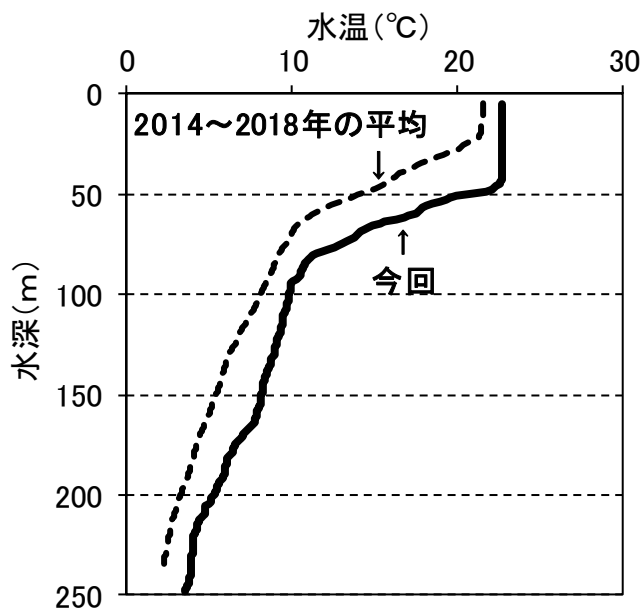


図3 雄冬沖の水温分布

5. 今後の調査など

次回の北洋丸によるトロール調査は, 10 月中~下旬に雄冬沖のハタハタ分布域を含む海域で, スケトウダラやニシンの分布調査を兼ねて実施する予定です。例年のことではございますが, 付近の海域で操業中の漁業者の皆様には何卒ご配慮いただきますよう, よろしく願いいたします。また, 漁期中には漁獲物標本の採集調査も実施いたしますので, 重ねてご協力をお願いいたします。